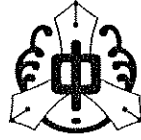


平成28年度 学校要覧



「明石が原」地名の由来

源頼朝が石橋山の戦い（1180年）に敗れ、安房の国にのがれついでに上総に渡ったとき、この地で馬が倒れ夜が明けたことから、「明石が原（あかしがはら）」という名称がついたといわれる。

校歌

作詞 北町 一郎
作曲 平井 康三郎

一、おどる黒潮 朝日にはえて

白砂にきさむ

足あとよ

松のみどりも

色あたらしく

明石が原に

伸びゆく力

われらの

白子中学校

二、みのり豊かに

南白亀の流れ

あかるき大地

ふくよかに

かおる理想の

花咲きほころ

学びの窓に

みなぎる希望

われらの

白子中学校

三、真理もとめる

若人われら

青空さえて

さわやかに

文化はくくみ

おりなすところ

明石が原に

あふれる光

われらの

白子中学校

白子町立白子中学校

〒299-4215 千葉県長生郡白子町中里860
TEL 0475 (33) 2152
FAX 0475 (33) 3815
E-mail shirako@shirako-jh.jp

1 沿 革

昭和22年	5月10日	新学制実施により、白潟町立白潟中学校、南白亀村立南白亀中学校、関村立関中学校として、それぞれ創立される。
昭和30年	2月11日	町村合併により白子町が誕生する。
昭和37年	4月1日	町内三校を統合して、白子中学校と改称。
	7月1日	初代、鈴木忠男校長着任。28学級、生徒数1,156名。
	9月2日	校章・校旗・校歌を制定。
	9月2日	新校舎一期工事が終了し、現在地に職員、生徒が移転する。
昭和39年	9月19日	第二期工事(管理室・特別室)完了。
昭和40年	5月8日	県教委より学校美化推進校に指定される。
	9月9日	体育館竣工(931㎡)
昭和42年	2月7日	第24代、木村庄之助より「心・技・体」の額の寄贈をうける。
昭和43年	4月23日	県教委より学力向上推進校・特殊教育研究校の指定をうける。
	10月24日	特殊教育公開研究会・学力向上推進の中間発表会の実施。
昭和44年	8月10日	プール竣工(25m・7コース)
昭和45年	10月6日	学力向上推進指定地域公開研究会の開催。
昭和46年	4月1日	第2代、鹿間肇校長着任。18学級、生徒数668名。
	10月5日	学校体育優良校の県表彰をうける。
昭和47年	9月26日	創立10周年記念式を挙げる。
昭和50年	7月22日	中学校総合体育大会において、野球、バレーボール、バスケットボール、体操、卓球が優秀な成績を収めた。(優勝、準優勝)
	11月1日	教育功労団体賞を受賞。
昭和51年	4月1日	第3代、佐瀬治夫校長着任。12学級、生徒数482名。
昭和53年	2月1日	千葉県花いっぱいコンクール最優秀賞受賞。
	4月1日	第4代、齋藤弘尚校長着任。13学級、生徒数450名。
昭和54年	11月22日	千葉県花壇コンクール優秀賞・特別賞受賞。
昭和55年	4月1日	放送教育研究の指定をうける。
昭和56年	1月20日	千葉県花壇コンクール最優秀賞受賞。
	4月1日	第5代、鶴澤和一校長着任。13学級、生徒数482名。
	11月16日	放送教育公開研究会を開催。
昭和57年	3月19日	柔剣道場竣工(565㎡)
	11月10日	創立20周年記念式挙行、記念造園完成、記念誌発行。
昭和58年	3月10日	学校園石庭完成。(柔剣道場前)
昭和59年	2月1日	技術・家庭科室竣工。
	10月18日	学校保健統計調査において優秀とみなされ文部大臣表彰をうける。
昭和60年	4月1日	第6代、江澤一夫校長着任。16学級、生徒数575名。
		文部省より、格技指導推進校の指定をうける。
	6月18日	校舎周辺排水溝整備、会議室・和室改装、校庭散水施設完成。
昭和61年	8月5日	プール改装工事完了、会議室前庭園工事完了。
	11月12日	格技指導推進指定地域公開研究会。(中間発表会開催)
昭和62年	10月28日	文部省指定、格技指導推進公開研究会発表。研究主題「一人一人の生徒が親しみやすい柔道指導をめざして」
昭和63年	11月11日	千葉県教育委員会教育長より「学校体育優良校」顕彰を受賞する。
平成元年	6月1日	千葉県PTA連絡協議会より、PTA団体表彰をうける。
平成2年	4月1日	第7代、齋藤正校長着任。16学級、生徒数543名。
		学校教育における社会人活用に関する研究校の委託をうける。
平成3年	10月30日	教室棟大規模改修。
平成4年	4月1日	千葉県教育委員会より平成4・5年度生徒指導推進地域の研究指定をうける。
	9月10日	創立30周年記念事業として、全天候型テニスコート一面が完成。
	10月5日	管理棟外壁大規模改修。
	11月20日	創立30周年記念式を挙行、記念誌発行。
平成5年	4月1日	第8代、鬼島雄一校長着任。16学級、生徒数517名。
	10月29日	平成4・5年度千葉県教育委員会指定生徒指導推進地域公開研究会開催。

平成 6年	6月 1日	千葉県PTA連絡協議会よりPTA団体表彰をうける。
平成 7年	11月20日	日本PTA全国協議会会長表彰受賞。
平成 8年	11月18日	千葉県教育委員会表彰受賞。16学級、生徒数509名。
平成 9年	4月 1日	第9代、木内鋭郎校長着任。16学級、生徒数517名。
	5月14日	郡市PTA広報コンクールにおいて優秀賞を受賞。
	8月31日	コンピュータ入れ替え、インターネット導入。
	9月19日	自転車小屋2棟新設工事。
	11月20日	PTA団体文部大臣表彰をうける。
平成10年	7月23日	屋上防水工事。
	10月 2日	平成11年度から新制服決定。
平成11年	4月 1日	第10代、村上義則校長着任。14学級、468名。
	5月28日	中央校舎と北校舎間の舗装工事。
	8月12日	体育館バスケットゴール電動工事及び体育館セパレーター工事。
	8月30日	放送施設改修工事。
	11月 2日	環境教育実践優良表彰を受賞。
	11月12日	さわやかハートちば優良実践団体表彰を受賞。
平成12年	2月 3日	歯科保健活動優良表彰を受賞。
	10月20日	プール改築工事。
	11月27日	「夢を育む教育」推進地域事業で講演会開催。
平成13年	6月25日	プール改築工事完了。
平成14年	3月22日	プール上屋建設工事完了。
	4月 1日	第11代、三橋一康校長着任。13学級、生徒数447名。
平成16年	6月30日	体育館東壁改修工事完了。
平成17年	1月11日	技術家庭科棟屋根防水シート工事完了。
	9月 5日	体育館西壁改修工事完了。
平成18年	4月 1日	第12代、西谷正博校長着任。12学級、318名。
平成19年	8月31日	南校舎耐震工事完了。
平成21年	4月 1日	第13代、宮崎 徹校長着任。12学級、299名。
平成23年	1月28日	新体育館落成。
平成23年	4月 1日	第14代、太田和晴彦校長着任。11学級、283名。
平成24年	3月 5日	部室8室完成。
	7月 1日	部室3室完成。
	11月17日	創立50周年記念式典を挙行、校訓制定、50周年記念校旗新調 グラウンド拡張工事完了、門柱完成、タイム カプセル埋設。
平成26年	3月27日	男子トイレ改修工事完了
	6月27日	校庭芝生化
平成27年	4月 1日	11学級、254名
	10月15日	千葉県教育委員会指定公開研究会「映像教材を利用した道徳教育の授業」
	10月26日	校庭時計取り付け
平成28年	3月31日	武道館トイレ改修工事完了
平成28年	4月 1日	第15代、野口一展校長着任。10学級、225名。

2 学区の概要

白子町は東西5.7km、南北6.3km、面積27.47km²のほぼ正方形で、西は茂原市、北は大網白里市、南は長生村に隣接し、東部は九十九里海岸となっている。地形はおおむね低・平坦地の砂土、砂壤土からなり、田畑がくまなく整備された中を、南白亀川が北部から中央部を経て東部海岸へと大きく回流している。

経済的には、機械力を導入した水稲栽培と、施設野菜・露地栽培・水耕栽培・植木等の複合農業と、年間30～40万人の海水浴客を集めている夏型観光に加え、恵まれた自然を生かしたテニスを中心としたリゾート観光へと変容しつつある。現在では、50を数える民宿・旅館やホテルと400面を超えるテニスコートが整備され、年間を通じて大学生の合宿や全国レベルの大会が行われている。

保護者や地域住民は、教育への関心が高く、期待も大きい。PTA活動は活発であり、学校へも非常に協力的である。

3 経営方針

平成28年度 白子中学校経営方針

校訓

自学 協働 白愛

教育目標

「豊かな心と知性を持ち、健康でたくましく生きる生徒の育成」

具体的目標

めざす学校像

地域から愛され、必要とされる学校

(生徒が通いたい 保護者が通わせたい 教師が働きたい学校)

めざす教師像

生徒から尊敬、保護者から信頼、同僚から一目置かれる教師

(1) N(年齢)・K(経験)・K(給料)に応じた指導力をもつ教師

(2) 生徒への深い愛情、保護者との連携、自ら学び続ける教師

(3) 学習指導力と生徒指導力を備えた教師

めざす生徒像

明るい挨拶、テキパキ掃除、けじめ(時間と身なり)

(1) 「ありたい自分」に向かって自ら行動する生徒

(2) 「縁ある人」とともに目標達成に努力する生徒

(3) 「白子人」としての誇りを持ち行動できる生徒

経営の重点

(1) ふるさと教育の推進

・地域学習(歴史、文化、自然)の充実

・地域素材や人材を生かした教育活動

・ふるさと体験学習の充実

白愛

(2) 学力向上と自ら学ぶ力の育成

- ・生徒主体の魅力ある授業の実践
- ・自らを高める「自主学習」の充実
- ・学習不振生徒への対応

家庭学習の充実

(3) 積極的な生徒指導の推進

- ・徹底した生徒理解と親身な指導
- ・短学活の充実
- ・基本的な生活習慣の確立

あいさつ

掃除

けじめ

(4) 特別支援教育の推進

- ・特別支援教育の共通理解と情報の共有
- ・教育的ニーズに応じた適切な教育支援
- ・「ひまわりステップ」（個別指導計画）の活用

(5) 安全・安心を保證する環境整備

- ・交通安全教育の充実
- ・危険予測能力、危険回避能力の向上
- ・保護者、地域との連携

(6) 組織の活性化と教職員の資質向上

- ・風通しの良い職場作り
- ・適材適所
- ・若手教員の育成

4 生徒数

学年		1年			2年			3年			特別支援		計
学級数		1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	みのり	ひかり	10
在籍数	男	13	13	15	14	15	14	14	15	1	4		118
	女	17	16	9	10	9	15	15	14	2	0		107
	計	59			72			87			7		225

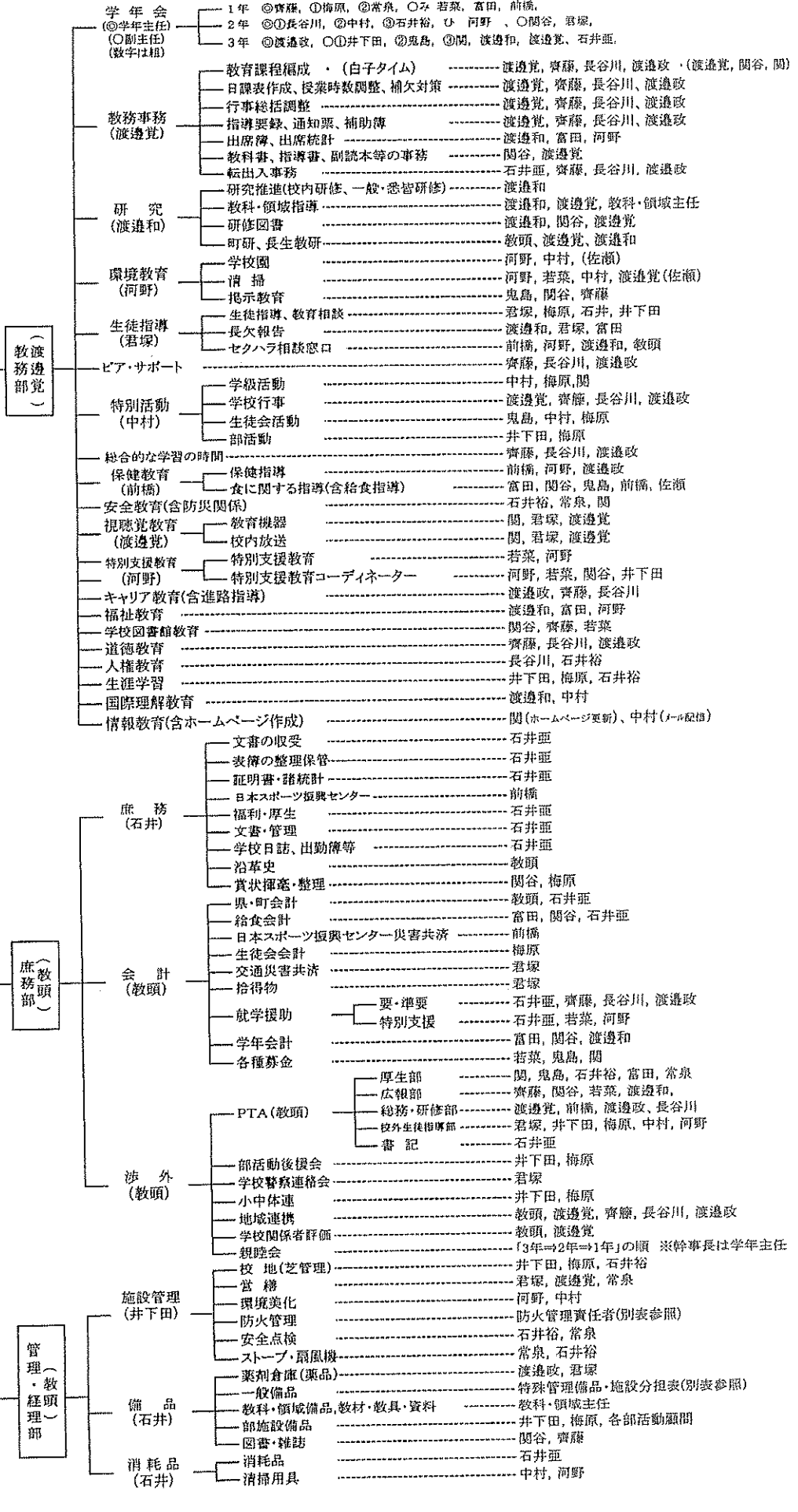
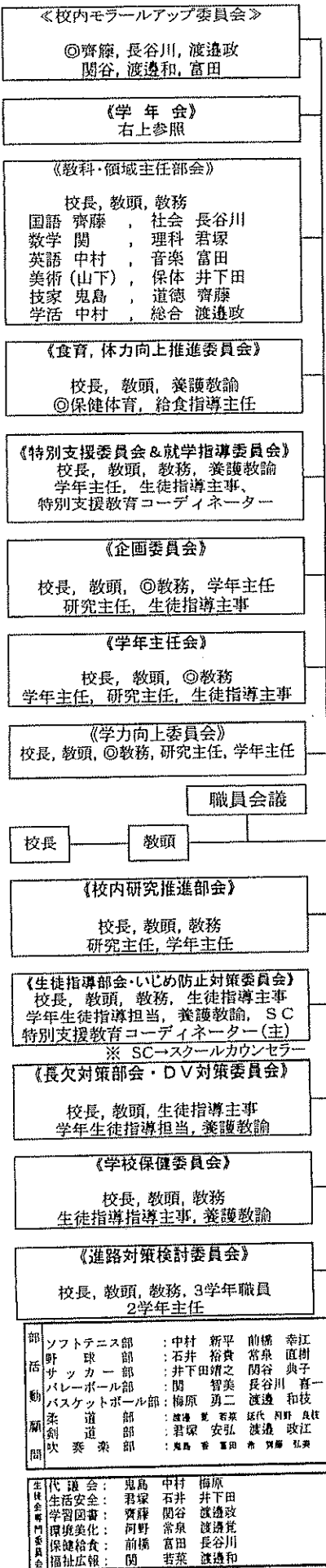
5 地区生徒数

地区		白 潟			南白 亀			関			その他		
学年	学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
学年別	男	12	16	19	8	16	14	6	13	12	0	1	1
	女	9	14	15	16	8	16	9	7	13	0	0	0
	計	21	30	34	24	24	30	15	20	25	0	1	1
男女別	男	47			38			31			2		
	女	38			40			29			0		
	計	85			78			60			2		
合計	225												

6 日課表

職員出勤 8:00	月	火	水	木	金
	打 合 せ	8:00~8:15	月・水・金:全体打合せ	火・木:学年打合せ	
	白子タイム	8:15~8:25	月・水・金:読書	火・木:朝自習	
	朝の短学活	8:25~8:35			
8:40					
第1校時					
9:30	< 1 >	< 6 >	< 12 >	< 18 >	< 24 >
9:40					
第2校時					
10:30	< 2 >	< 7 >	< 13 >	< 19 >	< 25 >
10:40					
第3校時					
11:30	< 3 >	< 8 >	< 14 >	< 20 >	< 26 >
11:40					
第4校時	道 徳				
12:30	< 4 >	< 9 >	< 15 >	< 21 >	< 27 >
13:10	給 食 指 導				
	休 憩				
13:30	予鈴 13:25				
校5校時					
14:20	< 5 >	< 10 >	< 16 >	< 22 >	< 28 >
第6校時	清掃 14:20~14:40				学 活
15:20	掃りの短学活 14:45~15:00	< 11 >	< 17 >	< 23 >	< 29 >
15:40		清掃 15:20~15:40	清掃 15:20~15:40	清掃 15:20~15:40	清掃 15:20~15:40
16:00		掃りの短学活 15:45~16:00	掃りの短学活 15:45~16:00	掃りの短学活 15:45~16:00	掃りの短学活 15:45~16:00

7 校務分掌



8 研究計画

1 研究主題 『めあてをもって授業に参加し、考え、学ぼうとする生徒の育成』

2 主題設定の理由

(1) 教育の今日的課題から

高度に発達した科学・技術，豊かな経済に支えられた消費文化，メディア技術の発達により氾濫する情報，価値観の多様化等，生徒を取り巻く環境は複雑多岐にわたり，問題も様々である。そうした社会をたくましく生き抜いていくためには，確かな学力の育成，豊かな心の育成，健全な体の育成，キャリア教育（社会的，職業的自立に向けた能力）の充実，グローバル化に対応する能力の育成が必要とされている。なかでも，確かな学力は，目的を持って豊かな人生をよりよく生きるための土台となる力であると考え。本校では確かな学力を，知識や技能はもちろんのこと，学ぶ意欲や自分で課題を見つけ，自ら学び，主体的に判断し，行動し，よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたものと考え研究を進めていくこととする。

(2) 学校目標から

本校の学校教育目標は、『豊かな心と知性を持ち，健康でたくましく生きる生徒の育成』である。様々な価値観をもつ人びとと互いに尊重しあいながら，人生をよりよく生きるためには豊かな心の育成が欠かせない。そして，課題に直面した時，主体的に取り組み，自分で考え判断し，表現する知性を身につけていけばたくましく生き抜くことができると考える。この学校教育目標具現化のために，本研究主題を設定し研究を進めることとする。

(3) 生徒の実態から

祖父母と同居する生徒が多く，また，植樹，観桜会や夕日鑑賞会等地域の自然を愛でる学習の機会，地域の行事への参加等地域密着の環境の中で育ており，生徒は比較的素直で優しく思いやりの気持ちが育っている。しかし，学習に関わることとなると，①学ぶ意欲が必ずしも十分でない②読解力や知識・技能を活用する力が弱い③家庭学習の習慣が身につけている生徒が多いものの，自分で計画し勉強することは苦手である。

これらを踏まえ，本校では，「確かな学力」は，自ら学ぶ意欲に支えられ，継続して養われていくものであり，その意欲は，自らもつ疑問や授業における「分かる喜び」によってさらに高められると考える。そして基礎・基本をしっかりと身につけた生徒が，自ら考え，判断し，行動することができる生徒へと変容していくことが，最終的に「生きる力」の育成につながるものと考え，本主題を設定した。

3 研究目標

生徒一人一人がめあてをもって授業に臨み、基礎・基本が確実に定着するような効果的な授業の進め方を研究し、進んで考え学ぼうとする生徒を育成する。

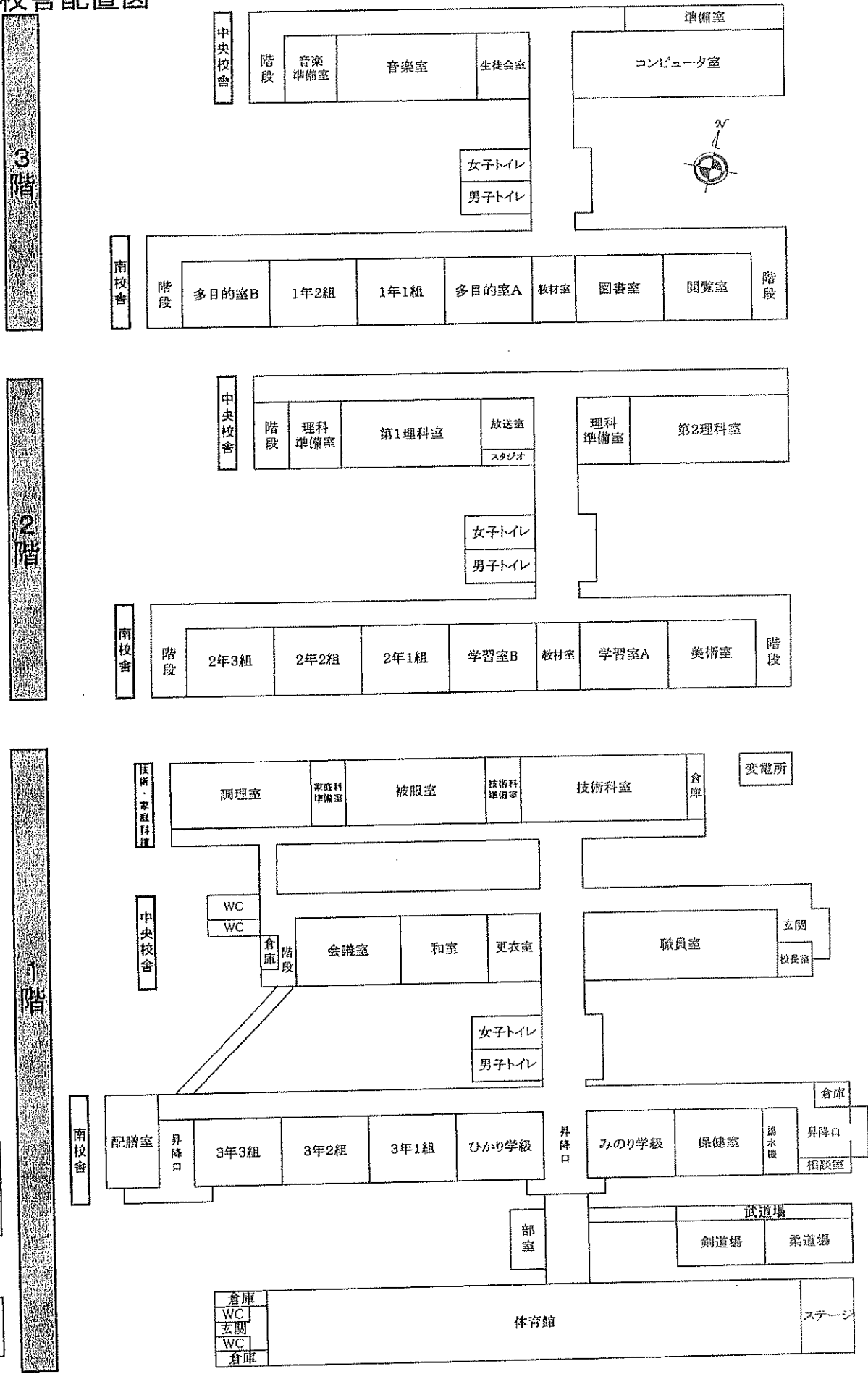
4 研究仮説

- (1) 効果的なめあての提示をし，基礎・基本が定着できるような授業を行えば，生徒は意欲を持って授業に臨むだろう。
- (2) わかる喜びを体験できる授業の工夫をすれば，生徒は進んで考え，学ぶ態度が育つだろう。

5 研究内容

- (1) 授業でのめあての持たせかた，基礎・基本の定着を図る指導の工夫を研究する。
- (2) 生徒がわかる喜びを感じ，生徒自らが進んで学習に取り組むことができる授業を研究する。

9 校舎配置図



10 職員一覽

No.	職名	氏名	校務・担当	教科
1	校長	野口 一展		
2	教頭	田中 弘樹		
3	教諭	渡邊 和枝	研究主任・3年担当	英語
4	教諭	関谷 典子	学校図書館教育・2年担当	国語
5	教諭	河野 良枝	特別支援教育・ひかり学級	特別支援
6	教諭	若菜 延代	特別支援教育・みのり学級	特別支援
7	教諭	渡邊 政江	キャリア教育・3年主任	理科
8	教諭	齊藤 弘美	道徳教育・1年主任	国語
9	教諭	長谷川 喜一	人権教育・2年1組担任・2学年主任	社会
10	教諭	渡邊 覚	教務主任・3年担当	技術・家庭
11	教諭	君塚 安弘	生徒指導・2年担当	理科
12	教諭	井下田 靖之	保健体育科主任・3年1組担任	保健体育
13	教諭	関 智美	数学科主任・3年2組担任	数学
14	教諭	富田 希	給食指導・1年担当	音楽
15	教諭	鬼島 香	生徒会活動・3年3組担任	技術・家庭
16	教諭	中村 新平	特別活動・2年2組担任	英語
17	教諭	石井 裕貴	安全主任・2年3組担任	社会
18	教諭	梅原 勇二	1年1組担任	保健体育
19	講師	常泉 直樹	1年2組担任	数学
20	養護教諭	前橋 幸江	保健主事・1年担当	
21	主事	石井 亜美	学校事務	
22	非常勤講師	高山 佳久	初任者指導員	社会
23	教科担任講師	山下 優		美術
24	スクールカウンセラー	吉田 美恵子	教育相談	
25	A L T	ポール・ローズ		英語
26	用務員	佐瀬 三代子		
27	特別支援教育支援員	岩名 地 優		
28	学習サポーター	緑川 雄太		